
彼女をつくる猟奇的な方法

メネ@未確認

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼女をつくる猟奇的な方法

【Nコード】

N5679V

【作者名】

メネ@未確認

【あらすじ】

動画タイトル：彼女をつくる猟奇的な方法

*というおはなし

（前書き）

批評・感想お願いいたします。
気分が優れたら改訂するかもしれません。

（・・・）メネ

『リエちゃん』

蠟燭の灯りだけしかない薄暗い小屋の中で、男の声が響いた。それを聞いて、男の目の前に座り込んでいた女が小さく悲鳴を上げる。しかしそれを意に介さず、男は無機質に無感情に、言葉を吐き出していった。

『僕は今から、君を殺そうと考えている。だけど、もし』

そこで男は一旦話を切り、手に持つナイフを蠟燭の火に近付けて刃を照らす。女がまた声を上げた。

小屋の外で、木々がざわめき騒いでいる。この小屋は、森の中にあるのだろうか。

しばらくしたのちに、男がおもむろに口を開いた。

『もし、リエちゃんが僕の彼女になってくれるなら、殺さないであげようとも、考えているんだ』

ゆっくりとナイフを女に向ける。灯りが揺らぎ、それに伴って男の影が不気味に動いた。それは、まるで、異形の者のように。

男は女の答えを待つ。

やがて、女は　小さく、首を縦に動かした。

『ありがとう、リエちゃん……』

ムービーはそこで途切れた。途端に緊張がほどけて、はっと息をつく。

何度見ても、この動画は良い。「彼女をつくる猟奇的な方法」という題なのだが、看板に偽りなしとはこのことだろうか。これは寸分の間違いなく、「彼女をつくる猟奇的な方法」だ。

まさに猟奇的であり、しかも、成功率はほぼ十割。……試した人が少ないからというのもあるかもしれない。話が少しずれるけど、それよりもこの方法を実践する人がいるというのも驚きだ。動画に付けられた報告のコメントだけでも、ざっと十人はいる。

変な動画には変な人が来るんだなあと考えたのち、それがブームランのように跳ね返ってくるのを複雑な気持ちで眺めた。

最近、夜が笑いだすのが早くなってきた。

少し前までなら、今の時刻は太陽が都会の町を赤く染めている頃だ。しかし今は月がすまし顔で浮かんでいる。今日は満月だけど、街灯や電飾が腕を鳴らす近代化した町ではその光など全く目立たない。神社などが残っている住宅街だとか裏山だったら綺麗に見えるだろうけど、と都会を憂いてみた。

昔は夜なんてどうでもよかった。だけど今は、夜がほんの少しだけ嬉しい。

なぜかって、それは

「おーい、飲みに行かねえ？ 俺、今日は奢っても良い気分なんだぜ」

突然声を掛けられ驚いて後ろを振り向くと、どうやら会社の同期らしかった。人の行き交う歩道の真ん中で財布まで見せびらかして今日はやけにテンションが高い気がする。あ、そういえば今日、「今度彼女とデートするんだぜ」とか言ってたけど、それかな。

彼女と飲みに行こうよそこは、と脳内で突っ込みつつやんわりと断る。断わりつつ、なんかこれクレーマー対処してる下っ端の言うセリフだなと自分を蔑んでみた。

「えっ、なんでだよ。お前……あ、そうか」

途中で気付いたらしく、同期が言葉を止める。分かってくれたみたいですのでまた来週、と早口で述べてその場から離れた。急がないと、待ち合わせの時間に間に合わない。

さっさと足を進めていく中、後ろから呼ばれていると気付いた。

同期が、近距離のくせに口に手を当て、いかにも大声を出しますというようなアピールをしている。

しかし、実際はそこまで大きくなかった。

「お互い頑張ろうぜ」

変な人が言った。

そして、変な人もうなずいた。

携帯が鳴っている。液晶に写された番号と文字を見るに、どうやら彼女からのようだった。

まずいかなあと通話ボタンを押すと、案の定、「ずっと待ってるのよ」と少し涙に濡れた声が聞こえてきた。慌ててごめんねと謝る。

「大丈夫、すぐに行くから。もう少し待っててね、リエちゃん」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5679v/>

彼女をつくる猟奇的な方法

2011年10月8日06時45分発行